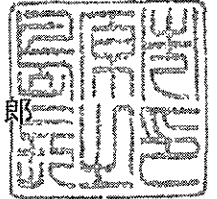


20島建第574号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

島原市長 吉岡 庭二郎



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号により依頼がありました標記のことにつきまして、別紙のとおり回答いたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

長崎県島原市

道路行政については、経済効果や、投資効果などが評価の重要な要因とされ、中長期の予算に大きく反映されていると思いますが、都市部と地方とは、分けた考え方に立ち、評価の方法を行なっていただきたい。

島原市のように、半島という地理的条件化においては、未だ公共交通機関が充実されているとは言えず、自動車交通への依存度が高い地域において道路の整備は、生命線ともいえます。そのため、1世帯における自動車の保有台数も都市部とは比較にならず、家計に占める道路特定財源への負担率も高くなっています。道路特定財源を、暫定税率を堅持したままで、平成21年度から一般財源化する「閣議決定」がなされましたが、地方において、道路整備はまだまだ不十分であり、一般財源化することにより、道路整備に対する予算の減少や整備の遅れが懸念されます。国におかれては、道路特定財源は、受益者負担の目的税であることを忘れられることなく、地方の実状、特性等を十分把握され、地方の声に耳を傾けていただき、道路整備に支障をきたさないよう配慮いただきますよう切にお願いいたします。

また、平成6年12月に計画路線の指定を受け、整備が進められております地域高規格道路「島原道路」の今後の事業推進につきまして、都市部に比べ地価や補償費が安価など、投資効果が発揮される島原市側から整備を進めていただきますよう要望いたします。

②－１ 地域の現状と抱える課題

長崎県島原市

○現状 島原市は、半島という地理的に不利な条件下にあり、自動車交通への依存度が高い地域であります。しかしながら、他地域と結ぶ動脈となる国道は２５１号しかなく、県央地域や広域交通の拠点であります高速道路のインターチェンジまで、島原市街地から１時間３０分以上がかかり、物的・人的交流等、地域振興や活性化に大きな障害となっています。	○課題 南島原市深江町から諫早市までの延長約５０ｋｍが、地域高規格道路「島原道路」として平成６年１２月に計画路線の指定を受け現在逐次整備が進められています。 島原道路が完成しますと、島原市はもとより、島原半島地域の活性化が図られるものと期待しているところですが、島原市出平町から諫早インターチェンジ間について、まだ、調査区間への指定をされていない区間があり、とりわけ、島原市出平町から雲仙市愛野町間についてはルートについても示されていない状況であります。 島原道路は、地域住民が待ち望んでいる道路であり、計画の全貌が見えない状況に不安を抱いており、事業の早期整備促進を強く望んでおります。
---	--

②－２ 地域の目指すべき将来像

長崎県島原市

島原市の主たる産業は、農林水産業と観光であります。なかでも農業におきましては、県内総生産の１割を生産しており、県内有数の農業地帯です。また、観光におきましては、「島原城」「武家屋敷」などの歴史的観光名所や「雲仙岳災害記念館」「平成新山ネイチャーセンター」などの雲仙・普賢岳の噴火災害の関連施設があり、年間約２１万人（Ｈ１８）の人が宿泊されています。しかしながら、高速道路九州自動車道路の諫早インターチェンジから島原市街地まで１時間３０分を要するため、新鮮さが命であります農産物の出荷につきましては、出荷範囲が限られ大部分が近隣都市への出荷に止まっています。観光につきましても、団体旅行から個人や少人数による旅行や自家用自動車での旅行への移行傾向にあり、宿泊客数は噴火災害以前に比べ４９％に減少しています。

農業及び観光いずれを取りましても、高速・広域の時代を迎えており、高速走行による自動車専用道路の整備は最優先される重要な課題であります。企業誘致においては、企業が立地を決断される上においても大きな条件の一つが交通環境であります。

島原市は、平成１８年１月に有明町との合併をいたしました。合併当時５万人を超えていた人口も、年々減少して現在は５万人を下回っている状況であります。

一方、島原港は、福岡県大牟田市及び熊本県へ３航路が運行しており、長崎県の東の海の玄関口として大きな役割を担っており、年間約８２万人の乗降客と約２６万台の乗降車（Ｈ１９）が利用されています。平成２２年に九州新幹線鹿児島ルートが全線開通しますと、関西方面から熊本を経由した集客が大いに見込まれ、島原市から県内各地へ移動されることとなります。

このようなことから、島原市においては、地域高規格道路「島原道路」の早期完成が最重要課題と位置付け取り組んでおります。島原道路が完成しますと、広域的な市場・高速的な物流の確保による経済の活性化、他地域との連携強化、通勤範囲の拡大による定住人口の増加、観光客など増加による交流人口の増加、高度救急医療機関との連携強化による人命・住民生活の安全の確保などが図られ、島原市の産業・経済の活性化及び安全安心な住民生活の基盤となり、併せまして、現在島原半島３市で認定を目指しております「世界ジオパーク」ネットワークに認定されますと、国内外からのたくさんの集客が見込まれ、島原市の将来像であります、活気にあふれる「火山とともに生きる湧水と歴史の国民田園都市」の創造に繋がるものと確信しています。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

長崎県島原市

○重点事項 ・地域活力、体力の向上	○代表事例 ・地域高規格道路「島原道路」の早期完成	○期待する効果や評価等 ・広域的な市場の確保による経済の活性化 ・通勤範囲の拡大による定住人口の増加 ・観光客等の増加による交流人口の増加 ・高度な救急医療体制を持つ県央地域との連携強化による住民生活の安全性の確保 ・市街地の渋滞緩和による生活空間での交通安全の確保	○その他
--	--	--	-------------